

Bridge

vol.6

● 特集インタビュー

21世紀にふさわしく、さらに進化する女子教育

金城学院大学の 新たな教育改革

一丹羽 卓教授 一教務部長 / 文学部 外国語コミュニケーション学科

1年次から卒業後も、責任をもって学生をサポート

キャリア支援センター

一原田 望 一学生支援部 キャリア支援センター課長





Bridge vol.6
interview
#1

教務部長
文学部 外国語コミュニケーション学科

丹羽 卓教授

Profile

●学位:文学修士●専門分野:言語学、社会言語学●研究課題:カナダ特にケベック州における言語問題の分析、フランス語系カナダ人のアイデンティティ●所属学会:日本カナダ学会、日本ケベック学会

金城学院大学の新たな教育改革

学びのスタイルが、さらに進化する。

2009年に公表したマニフェストにおいて「教育力の向上」を掲げた金城学院大学は、常識にとらわれないさまざまな施策を打ち出して、独自路線の教育改革を推進。

21世紀にふさわしい大学へとさらなる発展を遂げるため、学院創立120周年、大学設立60周年を機に動き出した金城学院大学の教育改革。学部・学科編成の見直しや中・高・大の連携強化、国際化への対応など、さまざまな課題を掲げ、検討を進める中、すでに学生の日々の学習に直結する新しい学びのスタイルを築くための施策を開始。その目的や手応えを教務部長の丹羽卓教授に伺いました。

勉強が楽しく感じられ、自主的な学習を促す環境づくり

教育力を高めるための取り組みで、すでに着手していることは何でしょうか。

丹羽卓教授(以下敬称略/丹羽) これまでの女性教育の成果を発展させた新しい研究分野の開拓、社会の潜在ニーズや学生たちの夢など次世代を見据えた学部・学科の再編・本学の伝統ともいえる英語教育の高度化など、マニフェストで述べられている教育改革にはいろいろなテーマがあります。そんな中、すでに採用していたり試行を始めているのが、授業そのものの改革です。一クラスの人数の上限設定や座席指定、授業アシスタントの配置、成績評価のしくみの刷新、授業達成目標の明示など、これまでの授業のやり方にメスを入れて見直しを図っています。

そういった授業改革の狙いや背景について、お話を聞かせてください。

丹羽 目的をひとことという、授業をきちんとやり、学生たちにとって勉強をしてもらうためです。

これまで定期的に行ってきた学生調査の結果を見ると、学部学科によって偏りはありますが、自宅学習の時間がすくなく短くなっています。一日二時間以上やっている学生もいますが少数派自宅ではまったく勉強しないという学生もいます。保護者の方々の世代は、大学といえは自主的に勉強するのが当たり前ではなかったでしょうか。大学は学生を大人として扱い、学生は放っておいても自ら学ぶ、単位が取れないのはサボった自分の責任、というのが普通だったと思います。しかし今は、アルバイトに重きを置いたり友だちと過ごす時間を優先したりなど、本人の自主性だけに頼っているのは、勉強がおろそかになって

せん。その意味で教員の意識改革が必要だと申し上げるわけです。さらにシラバスに授業の達成目標を明記しました。「何を学ぶのか」ではなく「それによってどんな力を身につけて何が出来るようになるか」を明らかにするのです。教員の力が試される、いつでもいいかもしれません。学生にとっては、目標がはっきりすることで学ぶ喜びを感じることができると思います。

改革にはつねに、学生の意見も反映される

学生の目標を大切にしている、そんな印象を受けますね。

丹羽 学生たちに勉強を強いるのではなく、勉強を促すのですから、やはり学生の目標で見つめ、学生の声に耳を傾けることが大切でしょう。シラバスの改革も、教員と事務だけで決めずに検討の場に学生にも参加してもらい、いろいろな意見を吸い上げました。学生と一緒に改革を進め「与えられた授業ではなく、私たちが創る授業」と感じてもらえること。それが、勉強したくなる環境づくりだと思っています。

学生の自主的な勉強を促す上で、父母の皆様にも求めることは何ですか。

丹羽 毎年一回実施する授業評価の結果を二年ごとに「VOX POP」という冊子にして公表していますので、ぜひお父さまがどんな教育環境のもとで学び、どんな成果を上げているか、関心を持っていただきたいと思います。そして、教育力の向上を実現するために、学生の意見を取り入れるだけでなく、父母の皆様のお考えもお聞かせいただきたいと思います。

しまつことがあるのが実状です。その問題を解決するために出した私たちの結論が、勉強の楽しさや成果を実感でき、また、勉強の目標をはっきりさせて、自ら学ぶという気持ちを起こさせる授業の提供です。そして、決して勉強を強いるのではなく、勉強したくなる雰囲気やしくみを整えること、それが授業改革の狙いです。

授業改革の柱となる四つの取り組み

冒頭で述べられた授業の見直しについて、具体的な取り組みをお聞かせください。

丹羽 現段階では、大きく四つのテーマを掲げて進めており、まず一つ目が「クラスサイズの上限設定」です。これまで二〇〇人を越える講義がいくつかありましたが、それでは教員と学生とのコミュニケーションがとれず、授業が一方通行になってしまうなどの問題が生じていました。そこで今年度より、一クラスの上限を基本的に二〇〇名としました。二〇〇年度前期では、二〇〇名を超えていた講義のうち、一〇〇人以上の受講者があるものが一四三、五〇人以上一〇〇人未満のものが三三三となっています。つまり八割程度は五〇人以下ということになります。

これにより教員と学生との距離が近づいたことも、授業による学生数のほらつきも少なくなり、また、本当はもっと少なくしたく、学生や教員の意見を聞きながら見直しを図っていく考えです。続く二つ目は、「座席指定」「アシスタント制度」の導入です。座席の指定は、授業中の私語をなくすことが狙いのひとつです。友だち同士で好きに座ると、雑談が始まって本人だけでなく周りの学生も授業に集中できなくなり、今までも学生からクレームが寄せられていました。座席指定は私語をなくすだけでなく、座席表で学生の顔と名前が一致するので、教員と学生との

コミュニケーションを深める効果もあります。アシスタント制度は、授業をスムーズに行うために取り入れたものです。上級生が下級生の授業に参加して出欠の確認や教材の配布、学生の機器の操作説明などを行います。

今の二つの改革は、講義を受ける環境の見直しということですね。

丹羽 講義に集中できる環境を整えることは、学生が本来持っている学びたいという気持ちを呼び起こすための基本中の基本です。では、学ぶ喜びや目標を与えるためにはどうするか。それがこれから述べる授業改革の三つ目、「成績評価制度」の見直しと、四つ目の「シラバスの改革」です。

成績評価制度の見直しとは、どういった内容ですか。

丹羽 成績評価については、本学では三、四年前に、単位数という量だけでなく、学習の質も評価するGPA制度を導入しました。質を計るには、課題の提出や授業中の発言など、いろいろな観点があります。テストの結果だけでなく、日々の学習態度などもふまえて行う成績評価は、より現実に近いといえるでしょう。ただし、教員によって甘かったり厳しかったりなどの個人差も出てきます。

そこで、教員の成績評価に対して納得できない学生は、履修支援センターに疑義を出せるようにし、教員は文書で返答することが義務づけられています。もし訂正することになれば、教務部長や教務委員長の立ち会いのもとで行わなければならず、教員には相当なプレッシャーとなります。成績評価は学生にとって非常に重要であり、努力や成長の正当な評価は学ぶ、気持ちを高めることにつながります。そのためにも、教員は説明責任を果たせる成績をつけてください、ということなのです。



はだめで、常時勉強しなければならぬことになり、毎日が勉強で大変だと思えます。こうした改革は、全て新しいシラバスに反映されます。当然ですが、教員の側の負担も増えます。しかし、学生に本気で勉強してもらおうには、負担を乗り越えていくだけの気構えを

持たなければなりません。その意味で教員の意識改革が必要だと申し上げるわけです。さらにシラバスに授業の達成目標を明記しました。「何を学ぶのか」ではなく「それによってどんな力を身につけて何が出来るようになるか」を明らかにするのです。教員の力が試される、いつでもいいかもしれません。学生にとっては、目標がはっきりすることで学ぶ喜びを感じることができると思います。

キャリア支援センターが行う、
今後の就職関連ガイダンス&セミナー【2010年度】

日程	※土日を除く	内容	対象者
9/21(火)~10/1(金)※		求職登録カード・自己分析シートの提出	3年次 就職希望者全員
10/4(月)~10/7(木)		就職ガイダンス(第5回)	就職希望者全員(幼保小を除く)
10/21(木)		内定者報告会	企業
10/21(木)		就職総合テスト(第2回)	就職希望者全員
10/22(金)		公務員・教員 就職ガイダンス/第2回	公務員・教員(幼保を除く)
10/23(土)		ご父母向け就職説明会	ご父母
10/25(月)~10/28(木)		就職ガイダンス(第6回)	就職希望者全員(幼保小を除く)
11/15(月)		就職特別講座	就職希望者全員
11/17(水)~11/30(火)※		グループ別ガイダンス(第1回)	就職希望者全員
12/11(土)		OG懇談会	幼稚園・保育園・小学校
12月中旬(土)		学内企業セミナー	管理栄養士
2/3(木)~2/10(木)※		学内企業セミナー	企業
2/26(土)		女子学生のための就職フェア(中部学生就職連絡協議会連合会主催)	企業
3/3(木)		幼稚園・保育園・小学校 就職ガイダンス	幼稚園・保育園・小学校
1月~3月(随時開催)		グループ別ガイダンス(第2回)	就職希望者全員
適時開催		求人票紹介ガイダンス	4年次 企業
未定		内定者報告会&就職ガイダンス	福祉、栄養士、幼稚園、保育園、小学校



Bridge vol.6
interview
#2

学生支援部
キャリア支援センター 課長

原田 望

1年次から卒業後も、 責任を持ってサポート。

就職…、それは夢に描く人生のスタート地点。
すべての学生が自分の適性とそれにあった進路を見出し、
社会へ羽ばたいていけるように、金城学院大学は精神面でサポートや
能力開発、就職活動の実践的なアドバイスなど、
さまざまな視点で学生の就職活動を力強く支援しています。

「手厚く」もしくは「丁寧」 ぐらゐの就職支援策を展開

学生の就職活動支援に関する
金城学院大学の取組みについて教えてください。
原田 本学では、学生が自分の将来について早い段階から意識できるように、1年次からキャリア支援を継続的に行っています。

まず、必修科目の「キャリア開発A」を始めとして、幾つかのキャリア開発教育科目群を設けており、1年次前期から人生設計、自己分析、女性としての生き方、女性の職域などキャリアに関するさまざまなことを学んでいます。そのため、キャリアへの関心は非常に高く、3年次には毎年約四分の一の学生がインターンシップを受けており、インターンシップ参加学生数は全国女子大学で一位になっています。

また、キャリア支援を充実させるため「キャリアエール」「キャリアアップ講座デスク」「キャリア支援センター」の三つのセクションを設けています。

「キャリアエール・キャリアアップ講座デスク」
キャリア支援センター」各々の役割について。

原田 「キャリアエール」は、就職を目前にして、というよりも仕事や人生など、将来について幅広く相談できる場所です。カウンセラーは本学OGを中心としたお姉さんのような存在ですので、1年次から気軽に利用しているケースが多いですね。

「キャリアアップ講座デスク」は、資格取得の講座を企画・運営しています。

そして「キャリア支援センター」は、3年次後半から始まる就職活動のために、就職ガイダンスや筆記試験、面接試験などの対策講座、企業との就職交流会など、就職に必要なスキルを養うプログラムを実施しています。もちろん、スタッフによる個別のアドバイスや、指導など「フォロー」も怠りません。この

ように各セクションごとに役割を分担し、学生もそれを理解してきちんと使い分けています。

金城学院大学の就職支援は、
どんな特徴がありますか。

原田 ガイダンスやセミナーの回数は、他大学に比べ圧倒的に多く、しかも学部単位で行っているのも特徴です。OG懇談会や内定者報告会など先輩から直接話を聞く場も多く設け、さらに内定を得た4年生が全五回のプログラムを組む「就活サポート」というユニークなプログラムも実施しています。経験にもとづいた具体的なアドバイスが聞けるとあって、参加学生は300名以上という盛況ぶり。先輩から就活のコツと勇気をもらっています。

これらのプログラムやマンツーマンの対応を通して、就職希望者全員が内定を得られるまで「手厚く」もしくは「しつこい」ぐらゐ応援していく。それが本学の就職支援の特徴といえるでしょう。

自信を失わないように、
常に励ましてあげてください。

父母の皆様へのメッセージをお願いします。

原田 就職難の今、採用がなかなか決まらず苦労している学生も多く、何度か不採用を受け、自信を失っていくこともあります。しかし、諦めず、強い意志を持ち続けることが重要です。ご父母の皆様におかれましては、諦めないよう励ましの言葉をかけてあげてください。キャリア支援センターでは、今年度父母会のご支援もいただき、4年生を対象に「就職活動見直し講座」を行いました。また、1・2年生には基礎学力向上のため「就職活動に役立つ基礎学力テスト」を実施しました。

今後有効と思われる具体策を立て、一人でも多く希望の職種に就職できるようサポートしていきたいと考えています。

大学の研究から、学生のクラブ・サークルまで。 父母会はさまざまな活動をサポートしています。

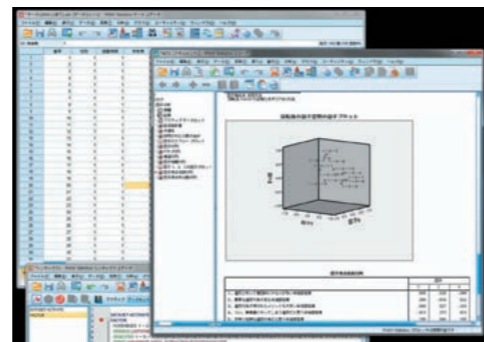
研究トピックス 特別研究助成費をいただいて

研究の有意性を 高める世論調査を 可能にした、 システムの導入。

人間科学部心理学科
社会心理学専攻
北折 充隆 准教授
専門分野:社会心理学・交通心理学



2009年度に金城学院大学父母会特別研究助成を受けることができ、大変感謝しております。助成でWeb調査の実施と、統計ソフトPASWを購入できました。私は世の中のルールを守る心理について研究しているのですが、現在は厳罰化の影響に関する研究の一環として、シートベルト着用義務化について縦断調査を実施しています。このベルト着用義務化は大変興味深いケースで、1985年に運転席と助手席のベルト着用が義務化されたときは、それ以前よりベルト非着用の危険を訴えるキャンペーンが展開され、効果がないということで着用の義務化となりました。しかし後部座席の着用義務化は、それまでルールとして存在すらしなかったものに突如従うことを求められるという、極めて特殊なケースなのです。こういうルールがどのように定着していくのか研究しているのですが、どうしても様々な年齢層の男女を対象としたデータが必要となり、費用はかかるのですが、Web調査なしに研究を進めること



はできませんでした。また、高度な解析を行う統計ソフトは非常に高価なのですが、卒業論文などで学生が使うこともあるので、こうした機会に入手できたことで学生の利便性も向上し、大変ありがたいと思っています。現在、得られた知見を論文としてまとめている段階なのですが、こうした成果を上げることができたのはこの助成のおかげです。今後とも金城学院の発展のためにも、教育と研究への温かいご支援を宜しく願います。

予算及び決算につきまして、主な点を説明します。

【2009年度決算について】昨年度は学院創立120周年、大学設立60周年でした。そこで単年度の措置として「周年事業助成費」を設け、太陽光発電装置、E6号館から第1駐車場までの道路境界に新たに設置された歩道の費用の寄付を予定通り行いました。

【2010年度予算について】一昨年から就職が非常に厳しくなっています。そこで、現4年生の就職支援及び1・2年生への意識啓発のため「学生キャリア教育助成」を400万円増額することが承認されました。具体的には、4年生にはエントリーシートの再指導の助成を、1・2年生には一般常識・基礎学力テスト受験費用の助成をします。



2009年度卒業記念品として
聖書の庭に噴水を寄贈

東側キャンパスのE4号館とE5号館の間に「聖書の庭」が設置されました。ここには聖書に登場する100種類以上の草花の中から、ユリ、ヒアジンス、サフラン、イチジクなど名古屋の気候にも適応できる27種類が植栽されています。父母会から、庭の中心に噴水を寄贈いたしました。学生、教職員から愛称を募集したところ、60数件の応募があり、「叡智の泉」が選定されました。

聖書の庭

今年度も夏休みに地区別懇談会を開催します。

昨年度と同じ4会場で開催する予定です。大学の現状や当該地域における就職状況の説明の後、就職、教務、学生生活に関するご相談などを個別に受付けます。下記の地区の方々には、別途ご案内をお送りしておりますので、お申込のうえご出席ください。なお、開催日程は以下の通りです。

◎ 金沢(金沢都ホテル)	8月28日(土)	13:30~16:00
◎ 浜松(グランドホテル浜松)	9月4日(土)	13:30~16:00
◎ 四日市(四日市都ホテル)	9月11日(土)	13:30~16:00
◎ 岐阜(岐阜グランドホテル)	9月18日(土)	13:30~16:00

総会報告 収支報告

去る2010年6月2日(水)大学にて父母会総会が開催され、2009年度の事業報告・決算、2010年度の事業計画・予算などが承認されました。

◎収入の部	2009年度収支決算			2010年度収支予算		
	決算額	予算額	増減	2010年予算額	2009年予算額	増減
前年度繰越金	32,662,138	32,662,138	0	26,869,087	32,662,138	△ 5,793,051
入会金 7,000円	9,387,000	9,387,000	0	9,366,000	9,387,000	△ 21,000
会費 12,000円	60,390,900	61,704,000	△ 1,313,100	63,636,000	61,704,000	1,932,000
雑収入 預金利息	86,795	100,000	△ 13,205	100,000	100,000	0
周年事業積立金取崩収入	10,526,309	10,526,309	0	—	10,526,309	△ 10,526,309
合計	113,053,142	114,379,447	△ 1,326,305	99,971,087	114,379,447	△ 14,408,360
◎支出の部	決算額	予算額	増減	2010年予算額	2009年予算額	増減
学生教育助成費	3,898,650	3,900,000	△ 1,350	3,900,000	3,900,000	0
学生キャリア教育助成費	9,230,000	9,230,000	0	13,230,000	9,230,000	4,000,000
学生活動助成費	9,416,716	9,800,000	△ 383,284	9,984,000	9,800,000	184,000
学生指導助成費	2,339,217	3,120,000	△ 780,783	3,182,000	3,120,000	62,000
教育研究助成費	10,324,316	10,609,000	△ 284,684	10,529,000	10,609,000	△ 80,000
教員研修助成費	2,045,243	3,970,000	△ 1,924,757	4,300,000	3,970,000	330,000
事務研修助成費	1,500,000	1,500,000	0	1,600,000	1,500,000	100,000
地区別懇談会助成費	2,105,380	3,000,000	△ 894,620	3,000,000	3,000,000	0
卒業記念事業費	3,000,000	3,000,000	0	3,000,000	3,000,000	0
環境整備助成費	5,000,000	5,000,000	0	5,000,000	5,000,000	0
父母会活動費	7,055,658	8,900,000	△ 1,844,342	8,900,000	8,900,000	0
学生施設建設助成積立金	3,000,000	3,000,000	0	3,000,000	3,000,000	0
周年事業助成費	27,000,000	27,000,000	0	—	27,000,000	△ 27,000,000
周年事業積立金	—	—	—	3,000,000	0	3,000,000
雑費	268,875	1,000,000	△ 731,125	1,000,000	1,000,000	0
予備費	0	21,350,447	△ 21,350,447	26,346,087	21,350,447	4,995,640
次年度繰越金	26,869,087	—	26,869,087	—	—	—
合計	113,053,142	114,379,447	△ 1,326,305	99,971,087	114,379,447	△ 14,408,360
◎特別会計の部	組入額					
周年事業積立金	0					
学生施設建設助成積立金	3,000,000					

2009年度事業報告

2009年4月1日(水) 父母対象大学説明会
【内容】◎キリスト教教育について
◎学生生活について
◎教務上の諸事項について
◎キャリアアップ講座について
◎大学父母会の活動の協力について

2009年5月25日(月) 役員会
【役員会】総会審議事項の確認
◎2008年度事業報告
◎2008年度会計報告
◎2009年度役員・委員候補者
◎2009年度事業計画
◎2009年度予算
教育懇談
【歓迎会】新旧役員及び大学役職者の歓迎会

2009年6月3日(水) 総会
【総会】◎2008年度事業報告
◎2008年度会計報告
◎2009年度役員・委員候補者選出
◎2009年度事業計画
◎2009年度予算
【全体説明会】◎大学の現状報告
◎学生生活について
◎就職状況について
【学科別懇談会】学科ごとに教員との懇談

2009年7月16日(木) 委員との懇談会
【講演】演題:「ベッドサイドのユーモア学」
講師:学院長・学長 柏木哲夫氏
【懇談会】父母会役員・大学役職者とクラス委員との懇談会

2009年8月29日(土) 9月1日(火) 5日(土) 12日(土) 地区別懇談会
【概要】◎大学の教育方針・近況等説明
◎学生生活上の説明
◎個別懇談(成績関係、就職関係、その他)
【出席者】岐阜…父母・学生132名、大学側19名
金沢…父母・学生20名、大学側6名
四日市…父母・学生75名、大学側18名
浜松…父母・学生60名、大学側15名
場所:岐阜、金沢、四日市、浜松

2009年12月3日(木) 定期懇談会
【議題等】◎大学の近況報告
◎今後の父母会活動について
◎教育懇談

2010年2月18日(木) 役員会
【議題等】◎今年度父母会活動の総括
◎卒業記念品について
◎総会の持ち方について
◎教育懇談

2010年3月18日(木) 役員会
【議題等】◎次年度役員、日程について

2010年度事業計画

2010年4月1日(木) 父母対象大学説明会
【内容】◎キリスト教教育について
◎学生生活について
◎教務上の諸事項について
◎キャリアアップ講座について
◎大学父母会の活動の協力について

2010年5月20日(木) 役員会
【役員会】総会審議事項の確認
◎2009年度事業報告
◎2009年度会計報告
◎2010年度役員・委員候補者
◎2010年度事業計画
◎2010年度予算
教育懇談
【歓迎会】新旧役員及び大学役職者の歓迎会

2010年6月2日(水) 総会
【総会】◎2009年度事業報告
◎2009年度会計報告
◎2010年度役員・委員候補者
◎2010年度事業計画
◎2010年度予算
【全体説明会】◎大学の現状報告
◎学生生活について
◎就職状況について
【学科別懇談会】学科ごとに教員との懇談

2010年7月23日(金) 委員との懇談会
【内容】講演会及び父母会役員・大学役職者と父母会委員との懇談会

2010年8月28日(土) 9月4日(土) 11日(土) 18日(土) 地区別懇談会
【概要】◎大学の教育方針・近況等説明
◎学生生活上の説明
◎個別懇談(成績関係、就職関係、その他)

2010年8月28日(土) 地区別懇談会
場所:金沢、浜松、四日市、岐阜

2010年12月2日(木) 定期懇談会
【議題等】◎大学の近況報告
◎今後の父母会活動について
◎教育懇談

2011年2月17日(木) 役員会
【議題等】◎今年度父母会活動の総括
◎卒業記念品について
◎教育懇談

2011年3月18日(金) 役員会
【議題等】◎次年度役員、日程について

ごあいさつ

金城学院大学父母会 会長

浅井 清司

会員皆様におかれましては、いよいよご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は父母会活動に深いご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。会員皆様と父母会を結ぶ架け橋として「Bridge」第6号をお届けいたします。

昨年は金城学院創立120周年・大学設立60周年の記念すべき年に当たりました。父母会も記念事業といたしましてキャンパスの間を走ります公道沿いに歩道の設置と太陽光発電装置を寄贈いたしました。また2009年度の卒業記念品といたしまして「聖書の庭」の中央に噴水(表紙参照)を寄贈し、学生により「叡智(えいち)の泉」と名付けられました。いずれも「森の中の大学」というコンセプトのもとに実施されました学内環境整備の一環をなすもので、歴史と伝統を誇る金城学院らしい花と緑あふれる美しいキャンパスに生まれ変わりました。6月2日に開催されました総会にご出席いただきましたご父母の皆様からも、「名門女子大らしい美しいキャンパスですね」とのおほめの言葉をいただきました。

本年はこの厳しい経済状況の中にあつて全国平均を上回る就職率をあげることができたと伺っております。これもひとえに柏木学長先生はじめ教職員皆様の熱意あふれるご指導ご尽力のたまものと厚く御礼申し上げますとともに各界でご活躍いただいております卒業生皆様のご努力のたまものと存じます。さらなる学生の人間力向上にむけて、マナー教育の徹底、授業中の私語撲滅と出席の厳格化、そして強力なる就職活動支援をご計画いただき、実施していただいております。詳細につきましては本文をご覧ください。ご家庭におかれましては、こうした事項につきましてお嬢様と話し合いを持っていただき、意識を高めていただくことが、さらにより結果をもたらすものと確信いたします。会員皆様の尚一層のご協力をお願い申し上げます。ごあいさつといたします。

金城学院大学 学長

柏木 哲夫

日頃は大学の教育にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。皆様のお支えにより、学生への教育と教員の研究活動が円滑に推進できることを大変感謝しております。

昨年度金城学院は創立120周年、大学は設立60周年を迎えました。それを1つの節目とし、新たに金城学院大学教育マニフェストを作成し、社会に公表しました。マニフェストは、

- ①女性の人生を豊かにする大学教育を推進します。
- ②自ら学ぶ教育・学習システムを構築します。
- ③「森の中の大学」構想を推進します。
- ④キリスト教主義教育により「強く、優しい」女性を育てます。

の4項目からなっており、昨年度から具体的な改善作業を行っています。今回、丹羽教務部長が縷々説明をしていますが、これはマニフェストに基づく改革です。また、「森の中の大学」構想に基づき、里山整備をはじめ学内の整備を行っています。その中で、父母会から、太陽光発電装置、歩道設置工事のために多額のご寄付をいただき感謝いたしております。また、「聖書の庭」の噴水(叡智の泉)を卒業記念品としてご寄付いただきありがとうございました。

一昨年からの就職難等社会がめまぐるしく変化していますが、大学として最良の教育ができるよう、まい進していく所存でございますので、今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

学内トピックス

金城学院創立120周年・大学設立60周年記念事業として、周年事業積立金等を利用して、「歩道」と食堂(リリーイースト)に「太陽光発電装置」を寄付

環境教育の一環として太陽光発電装置を寄付しました。出力は、20Wで天気の良い日には約500本の蛍光灯を点灯させることができます。これは、食堂1階蛍光灯と同じ本数で、1日約14.88kgのCO₂排出量を軽減することが出来ます。

また、E6号館から第1駐車場までの道路境界に新たに設置された歩道の費用を寄付しました。この道路は緩やかにカーブした坂道で、見通しの悪い道路です。道幅も狭く、道路上に歩道を設置することが出来ないため、大学内に公道に沿って歩道を設置したものです。地域の方々へも開放し、好評を得ております。



歩道



リリーイースト(食堂)屋上に設置した太陽光発電装置